

相生山緑地オアシスの森くらぶ ニュースレター

34号

2009.1.24 発行

発行/相生山緑地オアシスの森くらぶ編集委員会 発行人/大館 学 編集長/近藤 真史

INDEX

【本号掲載分の活動】

- 7月26日(土)… 森の調査 / 定例活動
- 8月23日(土)… クラフト・巣箱づくり / 定例活動
- 9月27日(土)… 柴刈り大会・いのちの谷整備 / 定例活動
- 10月25日(土)… 第10回どんぐり祭り / 定例活動
- 11月9日(日)… 巣箱かけ / 特別活動
- 11月22日(土)… 竹林の整備 / 定例活動
- 11月29日(土)… 天白・もりのフォーラム協働事業～COP天白「生物多様性を学ぼう」
- 12月27日(土)… 正月準備 & 梅の剪定 / 定例活動

10月定例活動

第10回どんぐり祭り



地域の人たちに森と親しんでもらう場を提供しようということで、くらぶ設立当初から始められたどんぐり祭りも、めでたく10回目（前年が何と大雨で

中止だったため、ホントは9回目）を迎えることができました。

今年は天候もほどよく、朝から多くの親子連れなどに集ってもらい、盛況なイベントになりました。

恒例の木登り体験や八事の蝶々、クラフト等々に加え、今回は“どんぐりから育てる森づくり”という新たな企画を行いました。これは、当日拾ったどんぐりをポッドに植え、自宅に持ち帰って育ててもらい、3～4年後の祭りで、育った苗木を森の中に返そうというもので、これに先立ち、自分のどんぐりに愛着を持ってもらおうと、久々にどんぐりの背比べも行いました。

村田さん手作りの木製ノギス型計測

器もあり、背比べは多くの子もたち大好評でしたが、苗木づくりは持ち帰りの煩わしさもあってか、参加はそれほど多くありませんでした。それでも、我がくらぶのどんぐり博士、真弓さんの指導のもと、準備しておいた竹のポッドにビートルアパートの腐葉土を詰め、自分たちの拾ったどんぐりを植え付けました。

かくいう私目も、自宅で水やりしながら、マイどんぐりの生長を見守っております。（近藤 真）



植え付けから約2ヶ月のマイどんぐり

天白・もりのフォーラム協働事業 COP天白「生物多様性を学ぼう」

今年度から新しく始まった「天白・もりのフォーラム」の協働事業、区役所まちづくり推進室が参加者を募り、天白・もりのフォーラム構成団体のフィールドを一日で複数箇所回って自然体験を楽しんでもらう企画です。

第1回は、森くらぶと平針探鳥会が担当で、天白エコアンサンブルも演奏で参加するという贅沢な催しです。

11月29日（土）午前10時過ぎにバスに乗ってオアシスの森を訪れた親子連れから高齢の方まで26名の参加者。集いの広場での説明の後、真弓・森・大館の3班に分かれて山根口近くの竹

林で竹の除伐作業を行いました。この日は暖かくしばらくすると汗ばんでくる中、各々竹を切り倒しから片付けまで熱心に取り組みました。比較的作業に慣れた人が多く、短い時間のわりにかなりの作業量がこなせました。

昼前には、朝から竹炭焼きをしている村田・河野班に合流し、竹炭の説明と炭材作りも少し行い、先週収穫したサツマイモで焼き芋を振る舞いました。昼ご飯は集いの広場で、これも朝から女性陣が準備した森くらぶ自慢のトン汁を食べながら、天白エコアンサンブルの生演奏を聞くという優雅な一日で

した。朝早くから準備・作業に取り組み、片づけまで協力していただいた皆さんありがとうございました。ちなみに「COP天白」は、「COP10を天白で楽しもう。」との想いで作った愛称で、この趣旨に賛同する方はどなたでも自由に使うことができます。（大館）



▲竹炭の材料づくりのようす